

「間質性肺疾患入院患者における高流量鼻カニューラ使用症例の特徴と退院時転帰因子の検討」について

1. 研究の対象

2022 年 4 月から 2024 年 7 月の期間、当院に間質性肺疾患で入院された患者さん

2. 研究目的・方法

間質性肺疾患は慢性的な経過に加え、感染症や風邪等に伴う急性増悪による急性呼吸不全を契機として、日常生活動作や生活の質が低下しやすいと言われています。それらに対して、高流量鼻カヌー酸素療法(HFNC)は、急性呼吸不全に対する非侵襲的呼吸補助として比較的導入されることが多い治療法の一つです。しかし、この治療法を使用した方々における日常生活動作の能力や治療後の退院先と転帰との関連は十分に明らかになっておりません。そのため、本研究は、間質性肺疾患さんにおける HFNC 使用症例の臨床的特徴を明らかにして、退院時転帰に関連する因子を検討することで、よりよいリハビリテーションの介入とともに早期から退院先を見据えたより効率的な多職種連携を行うことができるようになると思います。

本研究では、電子カルテ内の過去の診療情報を収集解析し検証します。

研究期間は、病院長許可日から 2027 年 3 月 31 日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、BMI、入院前 ADL、入院時 Barthel Index、血液学的指標(CRP、Alb、LDH、KL-6、SP-D)、P/F 比、リハビリテーション介入状況、退院先 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：静岡県磐田市大久保 512-3 Tel：0538-38-5000

研究責任者：磐田市立総合病院 リハビリテーション技術科 鈴木亮馬